



TITLE:

# ツノダシの和歌山県白浜町瀬戸漁港での過去14年間（2000-2014）の出現

AUTHOR(S):

久保田, 信

---

CITATION:

久保田, 信. ツノダシの和歌山県白浜町瀬戸漁港での過去14年間（2000-2014）の出現. くろしお 2016, 35: 18-19

ISSUE DATE:

2016-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/216947>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

## ツノダシの和歌山県白浜町瀬戸漁港での 過去14年間 (2000-2014) の出現

Shin Kubota : Appearance of *Zanclus cornutus* for the past 14 years (2000-2014) at Seto fishing harbor, Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

筆者は2000年から2014年までの過去14年間、和歌山県白浜町に所在する瀬戸漁港において、毎日のように生物観察を実施してきた。その生物群中、代表的なサンゴ礁魚類であるツノダシ *Zanclus cornutus* (Linnaeus, 1758) (図1) の出現について、各年度での最も遅い出現日とその時に見られた個体数を以下にまとめた。

2014年10月1日 1個体  
2013年 出現した記録なし  
2012年1月1日 1個体  
2010年12月30日 2個体  
2009年9月29日 1個体  
2008年 出現した記録なし  
2007年9月14日 1個体  
2006年12月30日 1個体  
2005年11月20日 1個体  
2004年8月17日 1個体  
2003年12月5日 1個体  
2002年12月30日 1個体  
2001年12月24日 1個体  
2000年10月11日 1個体

ツノダシはツノダシ科 Zanclidae に属する1属1種の南方系種で、インド-太平洋の熱帯・亜熱帯海域に生息するが、和歌山県南部では春から初冬にかけて水深2-17mで体長15cm以下の小型個体が刺網にかかる(池田・中坊, 2015)。白浜町瀬戸漁港でも漁網にかかっているのが見られるが、上記以外の全ての生体の観察日を含めても、毎回、ツノダシの出現個体数は多くても3個体に留まり、多数が見られることは決してなかった。従って、瀬戸漁港へはツノダシの未成熟

な少数個体が、黒潮に乗って南方からは毎年來遊すると推察され、上記の過去14年間の記録から分かるように、決まって水温の低下する年末までしか出現が見られない。ところで2011年に田辺湾で水温低下による異例の魚類の大量凍死が起きたが、この時の死亡魚種のリストにはツノダシも含まれている(久保田ほか, 2011)。以上のことから、ツノダシは、毎年、冬季には凍死し、無効分散を繰り返していると推察される。しかし、地球温暖化がもっと進めば、例えばミドリイガイのように(久保田, 2007)、定着も可能になるかもしれない。

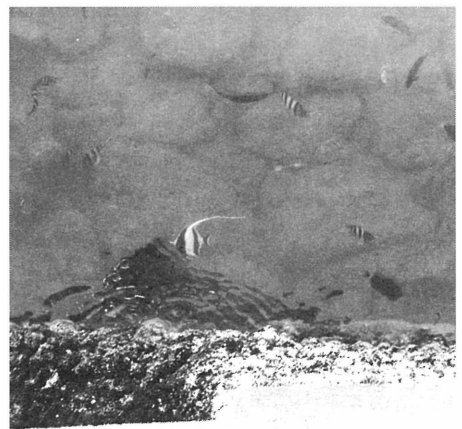


図1 和歌山県白浜町瀬戸漁港に2015年11月4日に出現したツノダシ

### 引用文献

池田博美・中坊徹次. 2015: 南日本太平洋沿岸の魚類. 597pp., 東海大学出版会, 神奈川県.

久保田 信. 2007: 和歌山県田辺湾およびその周辺海域におけるムラサキイガイ個体群の激減とミドリイガイの増加. 南紀生物, 49(1), 81-82.

———・田名瀬英朋・武藤望生・東海林明・木村一晶・中坊徹次. 2011: 和歌山県

田辺湾における2011年冬季の異例の数の凍死魚の漂着. 漂着物学会誌, 9, 13-16.

(〒649-2211 西牟婁郡白浜町459)

京都大学フィールド科学教育研究センター  
瀬戸臨海実験所

## 和歌山県白浜町で季節外れのツクツクボウシの初鳴き

Unseasonable first droning of a cicada *Meimuna opalifera*  
in Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan

新稲 一仁\*・久保田 信\*\*

京都府京都市で、2015年8月8日、晴天の猛暑日の午前中、ツクツクボウシ *Meimuna opalifera* が何度も鳴いているのに遭遇した。その日の午後にも、4種のセミ（アブラゼミ、クマゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ）が同時に鳴く蝉しぐれに遭遇した（久保田, 2015）。ツクツクボウシは、通常、夏の終わりが出番であるのに、上述のように盛夏に鳴くこともあった。

ツクツクボウシが真夏に鳴く事象が、今回、和歌山県白浜町で遭遇された。アドベンチャーワールドに近い権現谷付近で、ツクツクボウシの1個体が、梅雨明け直後の真夏の盛りになった2015年7月25日の16:30頃に、クマゼミといっしょに鳴いていた。この稀な現象は、自家用車で

そこを通過中の新稲が確認した。

今回、記録したのと同様の事象は、インターネット情報を探ると、日本各地で今後は遭遇されてくるのではないかと推察される。

### 参考文献

久保田 信. 2015: 京都での変わった蝉しぐれ. くろしお, (34), 53.

\* (〒649-2334 西牟婁郡白浜町才野1622-2222)

\*\* (〒649-2211 西牟婁郡白浜町459)

京都大学フィールド科学教育研究センター  
瀬戸臨海実験所